

(1)

**1-1 ; 政岡憲三監督『くもとちゅうりっぷ』(1943) DVD,Blu-ray などで見られます。**

「日本アニメーションの父」と呼ばれる人物が戦前に作った、当時のディズニーアニメにも匹敵するクオリティを持つ美しい傑作アニメです。

**1-2 ; ユーリ・ノルシュテイン監督『話の話 (Tale of Tales)』(1979) DVD,Blu-ray などで見られます。**

ロシアの世界的なアニメーション作家の代表作で、20世紀アニメーションの最高傑作の一つ。独特の世界をぜひ体験してほしいです。

**1-3 ; 庵野秀明監督『新世紀エヴァンゲリオン』(1995-1996) DVD,Blu-ray、Netflix などで見られます。**

日本アニメ史に残る超有名作のみならず、90年代以降、様々なカルチャーに影響を与え続ける名作。「現代文化表現」を知るなら絶対に一度は見るべき！※

\*\*\*\*\*

(2)

**2-1 ; 『東京都庭園美術館の建築&インテリア』(東京都目黒区)**

アール・デコ様式の日本での建築事例。様式研究やデザイン史の視点で現地を観察・体感してほしい。

**2-2 ; 『大谷石地下採掘場跡の空間+鹿沼のまち』(栃木県鹿沼市)**

採掘後の空間と採掘された石の生活利用の事例。人々の生活・文化の視点で現地を観察・体感してほしい。

**2-3 ; 『太田市美術館図書館の建物』(群馬県太田市)**

建設計画時から関わる人々の表現といえる事例。使用も含めた現代表現という視点で現地を観察・体感してほしい。

**2-4 ; 『分身ロボットカフェ DAWN ver.β』(東京都中央区)**

多様な人々が就労するカフェ。カフェは顧客や就労者にとっても日常空間であるが、一部の就労者にとっては仮想空間にあたるのか。私たちの新たな文化として体感してほしい。

**2-5 ; 『東急プラザ原宿 ハラカド』(東京都渋谷区)**

文化創造の発信拠点と位置づけられた空間。商業空間への実験的なコンセプトで「原宿のまち」が意識されたデザインとなっている。商品とともに空間にも目を向け確認してほしい。

\*\*\*\*\*

(3)

**3-1 ; 岡崎京子『pink』(マガジンハウス)**

跡見出身のマンガ家・岡崎京子。単行本には、雑誌連載版の最終回とはまったく異なるエンディングが収録されています。衝撃的な結末に、あなたは何を感じますか？

**3-2 ; 萩尾望都『半神』(小学館/複数バージョンの単行本あり)**

知的障害があり天使のように美しいユージーと、知能が高く賢いが醜い容貌のユージー、二人は腰部で身体がつながった結合双生児。「半神」という言葉の意味とは……？

**3-3 ; 瀧波ユカリ『わたしたちは無痛恋愛がしたい～鍵垢女子と星屑男子とフェミおじさん～』(講談社)**

「無痛恋愛」ってなに？ そんな関係はあり得るの？ 恋愛と友情、仕事と仕事相手との関係……ひりひりした問いをコメディタッチで描く、2024年全人類必読の書。

\*\*\*\*\*

(4)

**4-1 ; ロバート・ゼメキス監督『フォレスト・ガンプ/一期一会』**

CGの導入によってヒューマンドラマの表現の幅を広げた作品です。アメリカの近代史を垣間見ることもできます。

**4-2 ; 押井守監督『GHOST IN THE SHELL / 攻殻機動隊』**

海外からも高い評価を得たアニメーション作品。人間の脳とネットが直接繋がる近未来を描いています。

**4-3 ; ウォシャウスキー兄弟監督『マトリックス』**

革新的な映像表現が話題となった作品です。CGだけでなくワイヤーアクションやバレットタイムなども使われています。

**4-4 ; ビートルズ『The Beatles 1962-1966』**

J-POPのみならず様々な音楽ジャンルに大きな影響を与えたビートルズのベストアルバムです。1967-1970と併せて必聴。

\*\*\*\*\*

(5)

**5-1 ; 「西洋絵画、どこから見るか？—ルネサンスから印象派まで」展**

国立西洋美術館（上野）、2025年3月11日～6月8日（月・祝休）

米国のサンディエゴ美術館との共同企画により、同館と国立西洋美術館の所蔵する作品計88点を組み合わせ、それらの対話を通じてルネサンスから19世紀に至る幅広い西洋美術の魅力とその流れを紹介する展覧会です。

**5-2 ; 「異端の奇才—ビアズリー」展**

三菱一号館美術館（丸の内）、2025年2月15日～5月11日（月・祝休）

19世紀末の欧米を騒然とさせた英国早世の画家ビアズリーの歩みをたどる、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館（V&A）との共同企画です。絵が好きな方だけでなく、ポスターやイラストに関心のある方もぜひご覧ください。

**5-3 ; 「ゾフィー・トイバー=アルプとジャン・アルプ」展**

アーティゾン美術館（八重洲）、2025年3月1日～6月1日（月・祝休）

テキスタイル・デザイナーとしてキャリアを開始し、緻密な幾何学的形態による構成を、絵画や室内空間へと領域を横断しつつ追求したゾフィー・トイバー=アルプ（1889-1943）と、詩人としての顔を持ちながら、偶然的に生まれる形態に基づき、コラージュやレリーフ、彫刻を制作したその夫、ジャン・アルプ（1886-1966）のコラボレーション展です。

**5-4 ; 「ヒルマ・アフ・クリント展」**

東京国立近代美術館（竹橋）、2025年3月4日～6月15日（月休）

ワシリー・カンディンスキーやピート・モンドリアンら同時代のアーティストに先駆け、抽象絵画を創案した画家として近年再評価が高まっている、スウェーデン出身の画家アフ・クリントのアジア初となる大回顧展です。

**5-5 ; 「近藤亜樹：我が身をさいて、みた世界は」展**

水戸芸術館現代美術ギャラリー（水戸）、2025年2月15日～5月6日（月休）

東日本大震災の余波に人々の心が揺らぐ2012年に画家としてデビューした近藤亜樹が描き出す、生命の祝福、他者と共に在ること、2022年以降ますます切実さを帯びる災害や戦禍にある人々への想い、葛藤とレジリエンスなどを通じて、「生きること」と「描くこと」が切り開く世界に迫ります。

\*\*\*\*\*

(6)

**6-1 ; YouTube『コム デ ギャルソン川久保玲 2020 貴重なインタビュー』**

なぜ、川久保玲が世界一のファッションデザイナーと評価されるのか。その理由の一部が理解できる「まさに貴重な」映像。

**6-2 ; 映画『ココ・アヴァン・シャネル』(2009)**

同名小説を原作としたデザイナー、ココ・シャネルの伝記映画。ファッションの変遷、女性の地位とファッションの関係も描かれている。

**6-3 ; 映画『ファッションが教えてくれること』(2009)**

『プラダを着た悪魔』のモデルでもあるアメリカのファッション誌『VOGUE』の編集長アナ・ウインターのドキュメンタリー映画。ファッション界とアメリカの『VOGUE』との関係や雑誌がどのように作られるかも学べる。

**6-4 ; 映画『ミセス・ハリス、パリへ行く』(2022)**

1950年代のロンドン。家政婦のハリスがクリスチャン・ディオールのドレスに魅せられて、パリへ向かう…。1着の美しいドレスが女性に「夢見る力」を与えてくれる、ということを実感できる映画。

**6-5 ; 「角川武蔵野ミュージアム」**

新座の隣の駅、東所沢にあるミュージアム。見どころはいくつかあるが、中でもいちばんは「マンガ・ラノベ図書館」。ここは世界で最も多くの「エンタメ小説に会える場所」であり、ライトノベルと児童書やコミックなど合わせて約 37,000 冊が集まる。

**6-6 ; 「COVER」**

原宿の商業施設「ハラカド」にある雑誌ライブラリー。時代のトレンドを発信してきた雑誌が気軽に閲覧できる。原宿に行ったら立ち寄ってほしい。

**6-7 ; 代官山 蔦屋書店「Anjin」**

代官山 蔦屋書店の2階にあるカフェ・ラウンジ。壁面には3万冊の雑誌アーカイブが並ぶ。ドリンクがちょっと高めだけれど、利用者は雑誌を自由に閲覧できる。1階(書店フロア)はファッション、アート、デザインの書籍が充実。

**6-8 ; 展覧会「LOVE ファッション—私を着がえるとき」**

4月16日(水)～6月22日(日) / 東京オペラシティ アートギャラリー

昨年、京都国立近代美術館で開催された同展が東京に巡回。京都服飾文化研究財団のコレ

クションから選ばれた 18 世紀から現代までの衣服・装飾品とアート作品、約 130 点の作品が展示される。人々の欲望や願望がどのように装いの多様性・可能性を広げていったかをみて体感してほしい。

\*\*\*\*\*

(7)

#### **7-1; Louis Armstrong, *Louis Armstrong Hot Five and Sevens (1925-1930)***

(邦タイトル、ルイ・アームストロング『ホットファイヴ&セヴンズ』)

「ジス・イズ・ジャズ」の名札が似合う音楽。CD だと 4 枚組。ストリーミング、MP3 も有り。YouTube で 1 曲なら、“West End Blues”。

#### **7-2; Miles Davis, *Kind of Blue (1959)***

(邦タイトル、マイルス・デイヴィス『カインド・オブ・ブルー』)

日本も含めて、世界中で最も長く売れ続けているジャズのアルバムの 1 つ。CD、ストリーミング、MP3、レコード盤、YouTube、すべて有り。

#### **7-3; Stevie Wonder, *Songs in the Key of Life (1976)***

(邦タイトル、スティーヴィー・ワンダー『キー・オブ・ライフ』)

有名な曲・アルバムのとて多いミュージシャンですが、1 つのアルバムを選んで聴いてみる機会を持つのも悪くないです。CD、ストリーミング、MP3、レコード盤、YouTube、すべて有り。

#### **7-4; バズ・ラーマン監督『エルヴィス』(2022)**

「エルヴィスは二十世紀最大の文化的な影響力だ。ピカソ? 違う。エルヴィスは全てにビートを与えた。そして、全てが変わったのだよ」というのは、レナード・バーンスタインの有名な言葉です。

#### **7-5; チャーリー・エーハーン監督『ワイルド・スタイル』(1983)**

ヒップホップ・カルチャーが、ここから、こうやって始まったということがよくわかります。現在にいたるヒップホップのスターたちが影響を受けたヒップホップ黎明期を描いた作品。

#### **7-6; Bob Marley & The Wailers, *Legend (1984)***

(邦タイトル、ボブ・マーリー&ザ・ウェイラーズ『レジェンド』)

ヒップホップやパンク・ロックといった 1970 年代以降のポピュラーミュージックは、レゲエに代表されるジャマイカ音楽を抜きには成り立ちません。没後 40 年以上を経て、なお世界中のミュージシャンに尊敬され続け、影響を与え続けるボブ・マーリーのベスト盤です。

\*\*\*\*\*

(8)

### 8-1；劇団四季『バック・トゥ・ザ・フューチャー』

4月6日（日）～ /JR 東日本四季劇場 [秋]

1985年に公開された映画『バック・トゥ・ザ・フューチャー』をミュージカル・コメディ化した作品です。2020年にイギリスで、2023年にニューヨークで初演された話題作を、今年4月から劇団四季が新制作上演します。音楽の演奏は生オケ、時空を超える演出には、最新鋭のプロジェクションマッピングやLEDボードが用いられるそうで、映画と比較しながら鑑賞してみてください。

### 8-2；ミュージカル『1789—バスティーユの恋人たち—』

4月8日（火）～4月29日（火）/明治座

フランス革命を背景に、自由と平等を求める若者たちを描いた、圧巻のフレンチ・ロック・ミュージカル。2012年フランスで初演され、日本では小池修一郎の潤色・演出で、2015年に宝塚が初演、2016年、2018年に東宝が帝劇で上演、今回、明治座で7年ぶりの上演となります。宝塚、アイドル、2.5次元出身のキャスト陣にも注目です。

### 8-3；能 狂言『日出処の天子』

厩戸王子（聖徳太子）が少年時代を経て、摂政になるまでを描いた山岸涼子先生の傑作漫画『日出処の天子』（ひいづるところのてんし）。これまで何度も舞台化の噂がありましたが、とうとう人間国宝・大槻文藏の監修、野村萬斎の演出・出演による「能・狂言」という形で実現します。現時点では「2025年・夏」という以上は不明ですが、まずは、とにかくこの漫画を読んでほしいです！

### 8-4；松竹創業 130 周年記念三大名作一挙上演

3月、9月、10月/歌舞伎座

三大名作が一挙上演されるのは、創業 100 年にあたる 1995 年以来 30 年ぶり。元禄時代に起こった赤穂浪士による仇討ちを描く『仮名手本忠臣蔵』、平安時代の菅原道真の失脚事件を中心に、道真の周囲の人々の生き方を描く『菅原伝授手習鑑』、源義経を軸に平家滅亡後生き残った平家の人々を描く『義経千本桜』。どれも教養として知っておきたい作品ですし、歌舞伎の様式美を存分に味わうことができます。イヤホンガイドや Web 講座も是非活用してみてください。

### 8-5；早稲田大学坪内博士記念演劇博物館

日本で唯一の演劇専門博物館です。図書資料、紙資料、博物、映像、音源など多種多様な貴重資料を所蔵しています。常設展、企画展ほかイベントも多数。開館時間にご注意ください。

\*\*\*\*\*

(9)

9-1 ; 「ヌーヴェル・ヴァーグ (フランス、Nouvelle Vague)」、 「アメリカン・ニューシネマ (American New Wave)」 の映画作品 (ジャン＝リュック・ゴダール監督『気狂いピエロ』1965、デニス・ホッパー監督『イージー・ライダー』1969 など)。

1950年代から1970年代にかけてフランス、アメリカで製作された反体制的、対抗文化的映画作品群。

9-2 ; アンビエント・ミュージック (環境音楽、ambient music) 関連の音楽作品 (ブライアン・イーノ『Ambient 1: Music for Airports』1978、エリック・サティ『ジムノペディ』1888 など)。

1960年代から1970年代にかけて誕生し確立された、既存の音楽とは一線を画す音楽ジャンル。

9-3 ; NHK『世界サブカルチャー史 欲望の系譜』(シーズン1. アメリカ編、シーズン2. ヨーロッパ編、シーズン3. 日本編、シーズン4. 21世紀の地政学 アイドル編・ヒップホップ・ゲーム編・アニメーション編など)

アメリカ合衆国、ヨーロッパ、日本における、戦後のサブカルチャー、ポピュラーカルチャーの全体像が見えてくる。現在もNHKのBS、Eテレなどで放映中。一部、書籍化もされています。

9-4 ; 「横浜美術館」、 「(市立) 宇都宮美術館」 の現代アートに関連する収蔵作品 (アンディ・ウォーホル『キャンベル・スープII』1969 横浜、ルネ・マグリット『大家族』1963 宇都宮、など)。

欧米の現代アート／コンテンポラリー・アート関連の作品を比較的多く収蔵している美術館 (展示の有無、要確認)。ポンピドー・センター (パリ)、テート・モダン (ロンドン)、マグリット美術館 (ブリュッセル)、ピナコテーク・デア・モデルネ (ミュンヘン) などへもどうぞ!

\*\*\*\*\*

(10)

10-1 ; チャーリー・チャップリン監督『キッド』(1921)

笑ったり怒ったり泣いたり、人間の感情をセリフなしのサイレント映画で存分に表現し、それから1世紀のすべての映画の源泉となる至高の一作、必見。DVD購入簡単。

**10-2 ; ロマン・クロイター監督『グレン・グールド 27歳の記憶』(1959)**

ピアニスト、グールド氏の演奏収録シーン+インタビューの構成60分。ジャンルに関わらず音楽とは何か、演奏とは何か分かる。廃盤なので中古市場にあり。

**10-3 ; 『十日町市博物館』と『越後妻有里山現代美術館 MonET』(新潟県十日町市)**

前者の博物館では5000年前の国宝縄文土器を、後者の美術館では5年前の現代美術を展示。時を隔てた人間の表現意思とその形を同時に体験できる。遠い町でも行く価値あり。

**10-4 : ミロス・フォアマン監督『アマデウス』(1984)**

モーツァルトの伝記に関心あるという方は少ないと思います が 音楽映画としての出来栄も最高レベル 共感しながら150分の映画を見て聴くことができます。

**10-5 : 『長泉院附属現代彫刻美術館』(東京都目黒区中目黒4-12-18)**

芸術作品を映像や画像で見ることに慣れている方はぜひとも彫刻を「体験」してください。写真などで絵画を見てもDVDで映画を見ても「ほんもの」の体験との違いがピンとこないかもしれませんが、彫刻は写真で見ても意味ゼロ、本物をながめると全く違うメッセージが読み取れます。こちらの美術館は目黒駅から行けます、都内です(開館時間が独特なので(ちようせんいんびじゅつかん)で検索してください。現代日本の作家さんの作品を多数見学できます。ここで作品体験に興味持てたら・・・

**10-6 : 『箱根彫刻の森美術館』(神奈川県足柄下郡箱根町)**で海外作品にも触れてください。

**10-7 : 【美術館】** さらに遠く『十和田市現代美術館』は東北新幹線の七戸十和田駅からバス30分(一日に何本か)この行きにくさでもとても面白い(興味深い)美術館です。美術館だけではない、その近辺の町まるごと美術展示場のようになっています。ついでのことがあればぜひ!

**10-8 : 【映画】 パーシー・アドロン監督『バグダッド・カフェ』(1987)**

製作が「西」ドイツという一昔まえの映画です 舞台はアメリカ西部の砂漠の中 小さなモテルを舞台にアメリカ人と西ドイツ人が主人公 ロケーションにも登場人物にも似合わずにこれがファンタジー映画なので ここにご紹介します。配信で視聴可能。

\*\*\*

今学期は「良質な美術館」と「年内注目の展覧会」を合計3つご紹介します



**10-9：『横浜美術館』**（横浜市西区みなとみらい3丁目）

長らくの改装休館から新装オープン 特に現代美術の企画展は話題性もたっぷりです。各線桜木町駅から徒歩10分。みなとみらいにはこの他たくさんの美術館・博物館がありますのでぜひ半日かけてお楽しみください。 <https://yokohama.art.museum/>

**10-10：『京都国立近代美術館 MoMAK』**（京都府京都市左京区岡崎円勝寺町）

こんなに遠く？ しかし、24年9月13日から11月24日まで開催の「**LOVE ファッション 一私を着がえるとき**」展は現代文化に関して必見！です。京都駅からは地下鉄でどうぞ。 同展会期終了

**10-11：『大阪中之島美術館』**（大阪府大阪市北区中之島）

京都まで行ったら、おとなりの大阪へ。「**パリ 東京 大阪 モダンアートコレクション**」展は24年9月14日から12月8日まで。どこかで一度は見たことのある現代アートの本物がたくさん見られます！ <https://nakka-art.jp/> 大阪駅から徒歩OK。おとなりの「**大阪国際美術館**」もごいっしょにぜひ。 同展会期終了

\*\*\*

今学期は都内の「かわった美術館」3つご紹介します

**10-12：『東京おもちゃ美術館』**（東京都新宿区四谷4丁目20 四谷ひろば内）

展示と体験の両方に力を入れて幅広い「子供のおもちゃ」が集められています。なつかしいものというよりすてきなものが多いです。地下鉄丸ノ内線四谷三丁目最寄り駅。木曜日が休館ですご注意ください。たのしい気持ちになれます。

**10-13：『おりがみ会館』**（東京都文京区湯島1丁目7-14）

同じ丸ノ内線お茶の水駅から徒歩10分、こちらは折り紙作品の展示が多数、こんなものも作れるのかと驚きます。さらに紙の染め方教室もあればすてきな折り紙（紙）の販売もあります。やさしい気持ちになれます。

**10-14：『アイリスボタンの博物館』**（東京都中央区日本橋浜町1丁目11-8）

日本橋浜町と言えば明治座です、が、こちらは隅田川の川沿いにあるビルの2Fです。知る人ぞ知る服飾メーカーだった同社のオリジナルまた世界中のボタンがあります。ボタン一つにもこんな工夫や意匠があったのです。日曜休館で予約も必要です、ていねいに解説してくださいませ。おどろきの気持ちになれます。